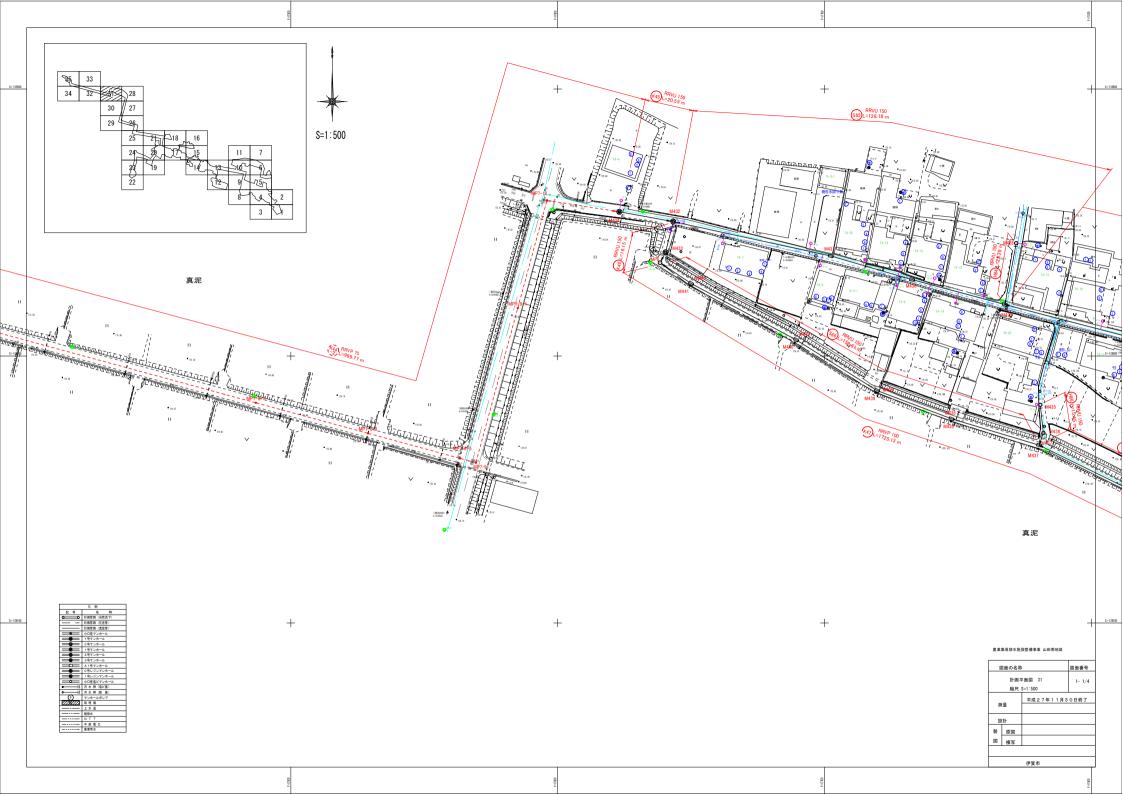
令和 元 年度

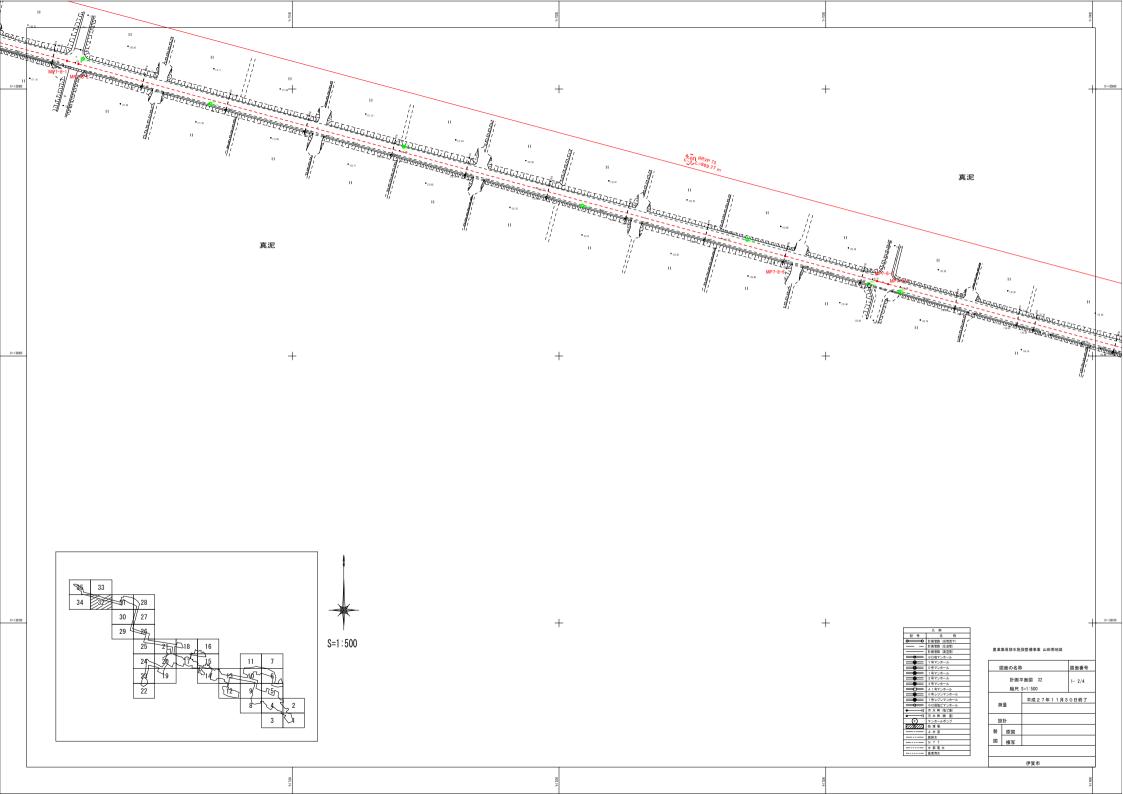
農業集落排水施設整備事業 山田南地区管 路 施 設 工 事 請 負 設 計 書

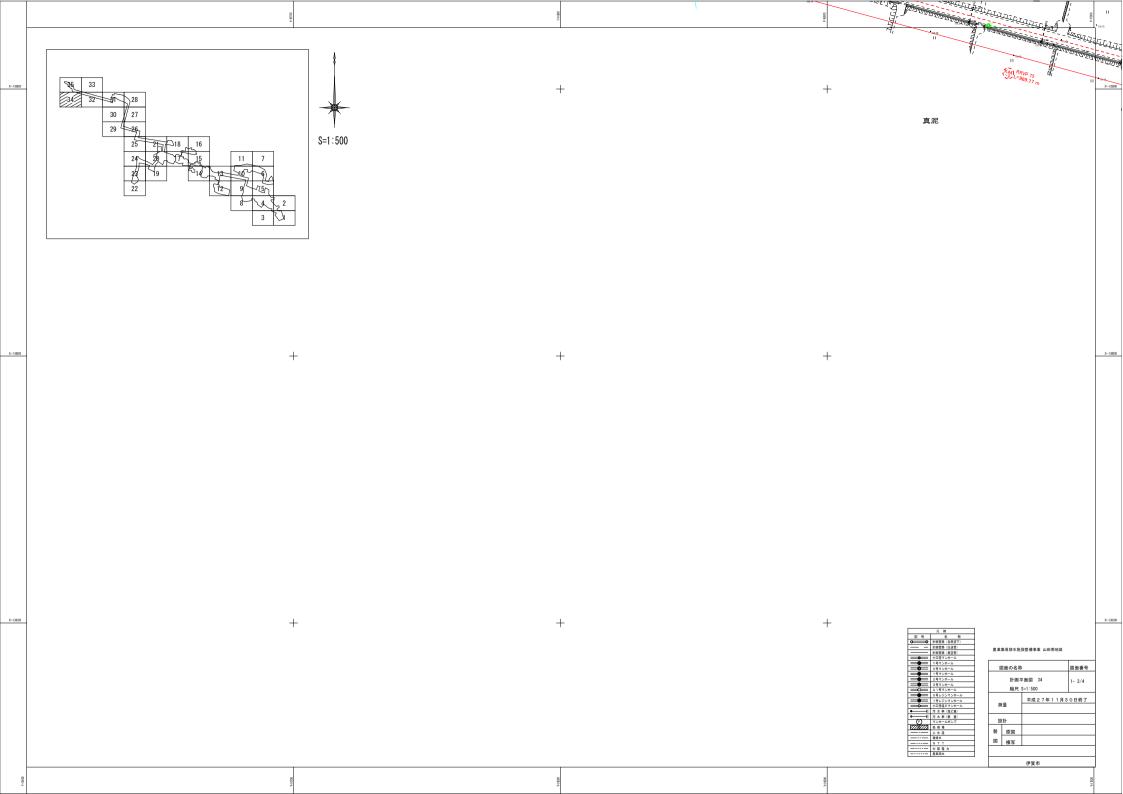
【 真 泥 4 工 区 】

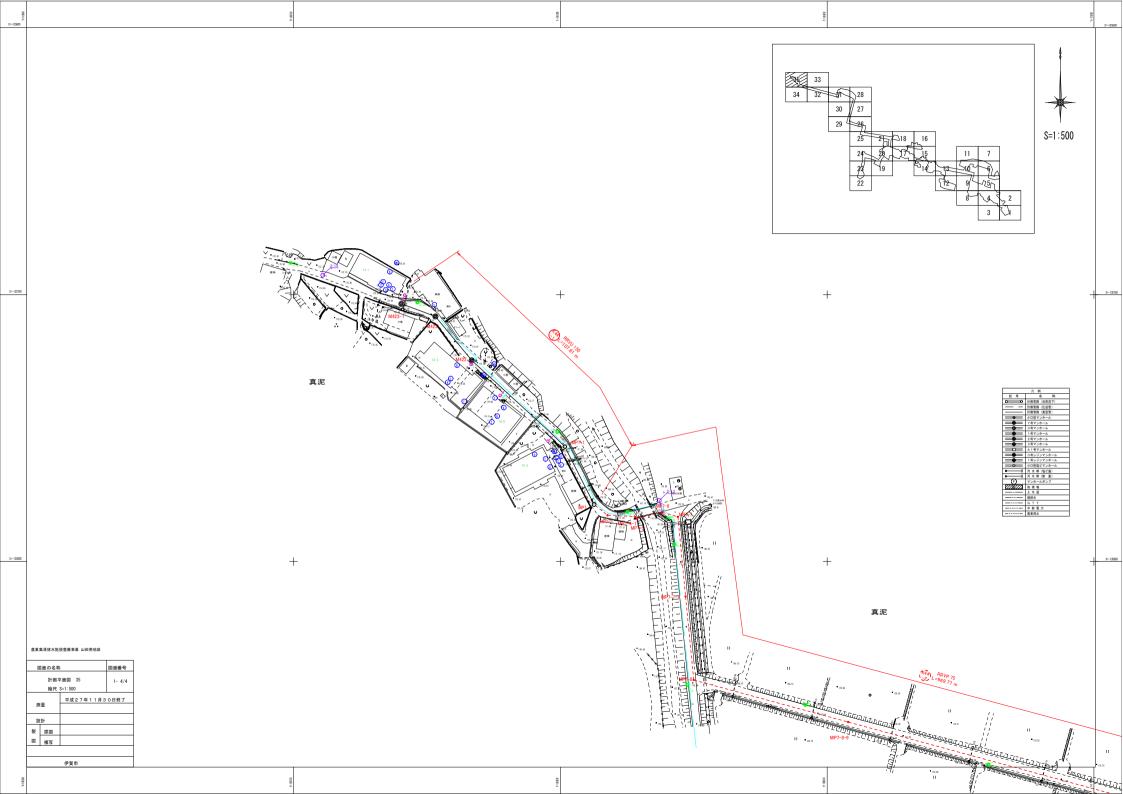
添付図面一覧表

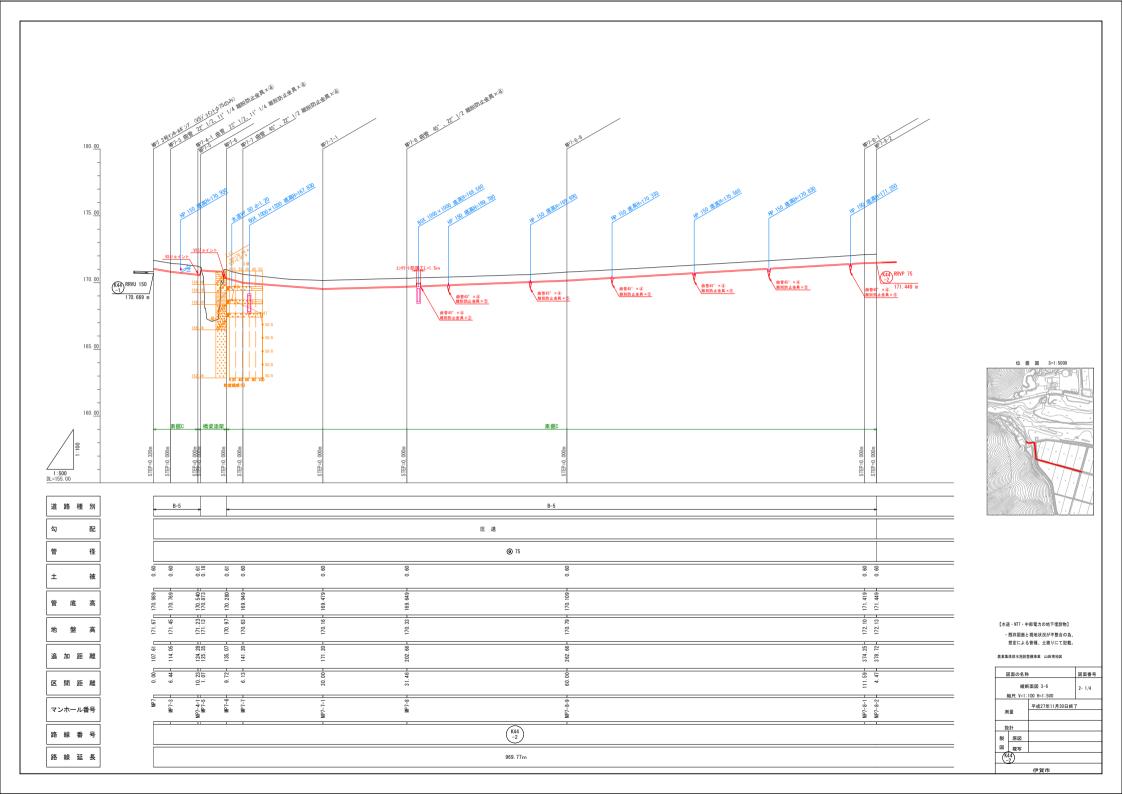
亚 口	logi	ヹ	<i>T</i>	Ħ	4h-	+/- */-
番号	図	面	の	名	称	枚 数
1	計	画	平	面	図	4
2	縦	断		面	図	4
3	路	線	横	f 面	図	1
4	取	付 管	横	断 面	図	-
5	各	種 構	造 物	工法	三図	7
6	公	共汚水林	神設置	計画平	面図	-
7	中	継ポポ	ンプオ	曹工沒	去 図	-
8	そ	の	他コ	法	図	1
計						17

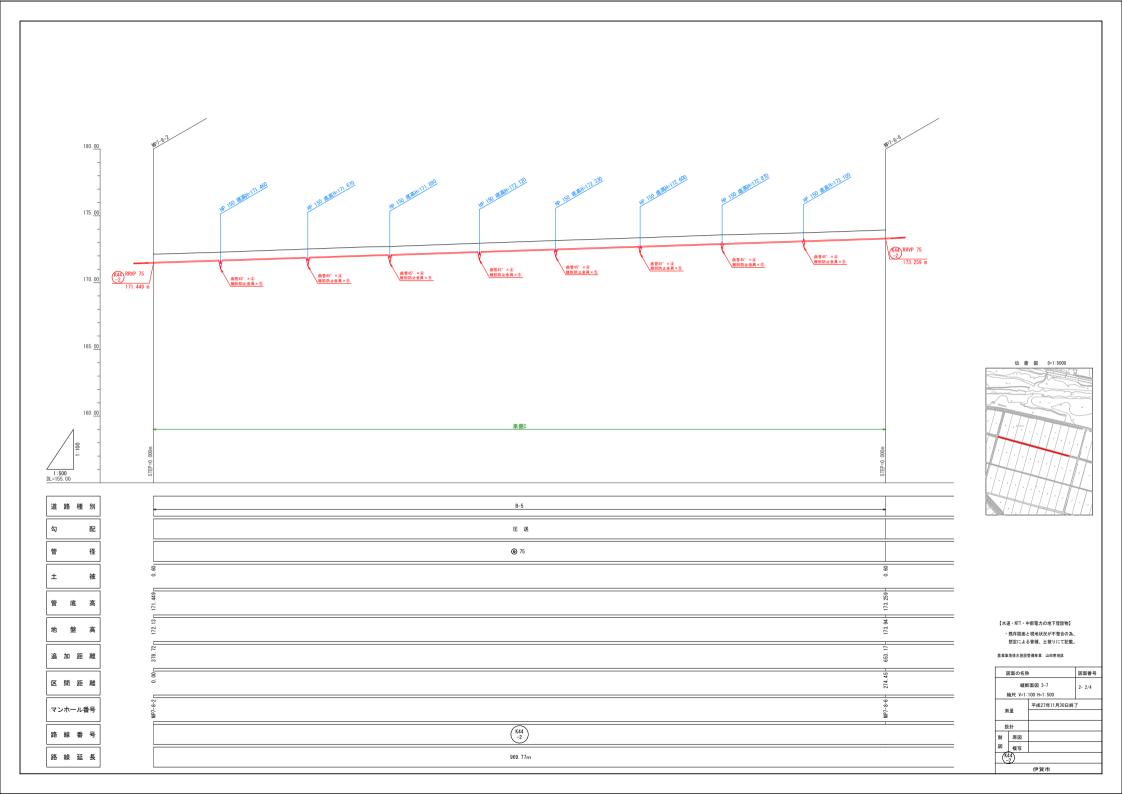


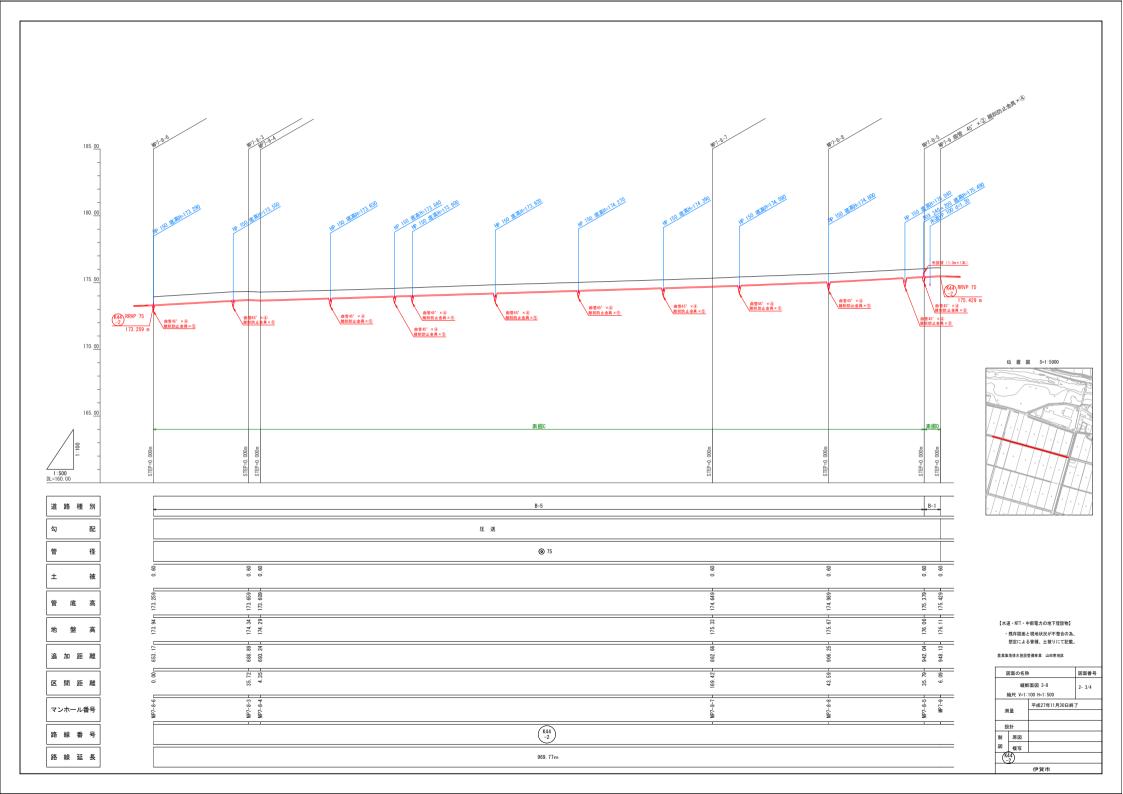


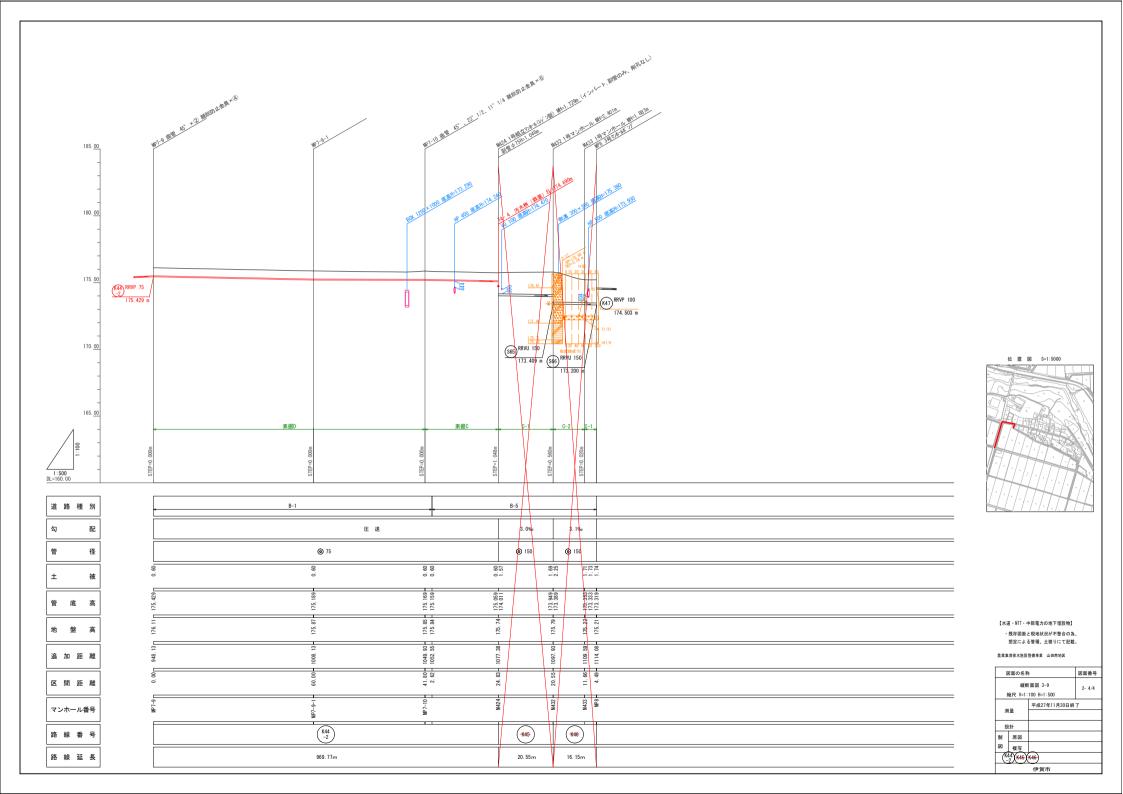


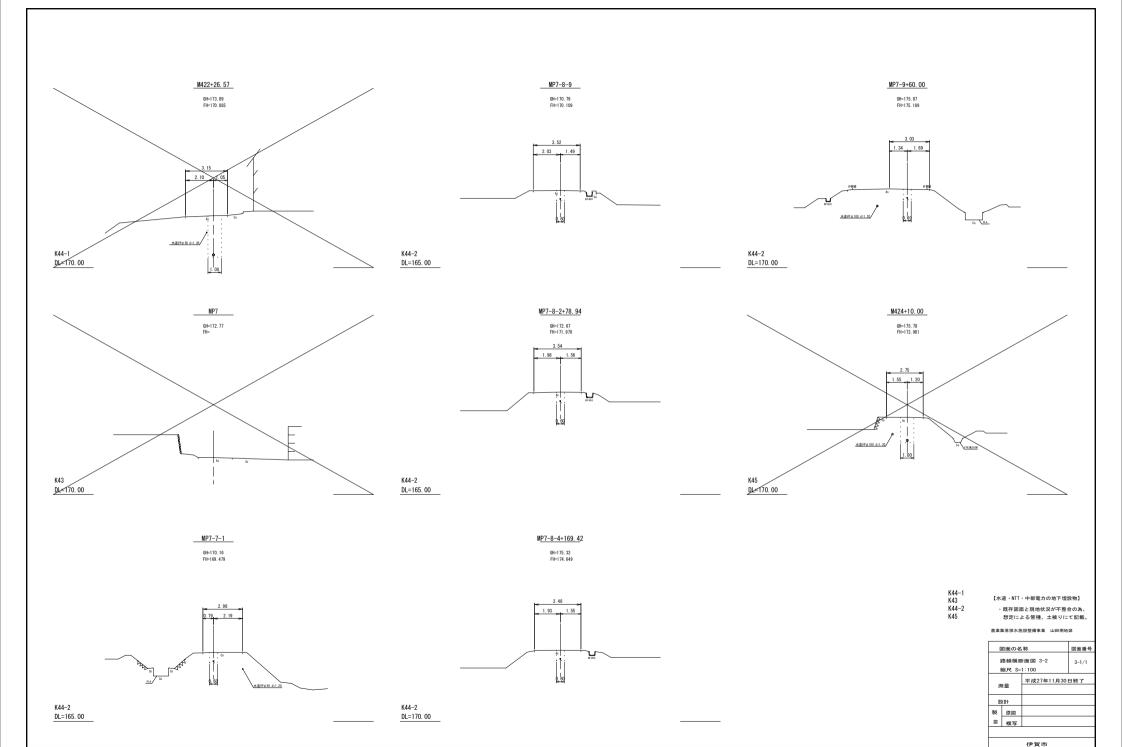






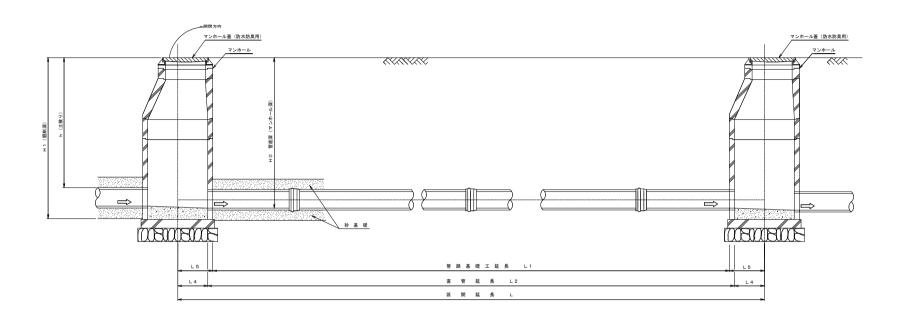






配管標準図

S=1:20



法	- 花

·) /A	23.			
番号	名称	L 4	L 5	
1	小口径マンホール	150	190	
2	Y号マンホール	300	375	
3	0号マンホール	3 7 5	450	
4	1号マンホール	4 5 0	5 2 5	
5	2号マンホール	600	700	
6	3号マンホール	750	875	
7	A 1号マンホール	4 5 0	5 2 5	
8	0号レジンマンホール	3 7 5	4 1 5	
9	1号レジンマンホール	450	490	
10	小口径塩ビ人孔	150	159	

寸 法 表

番号	管種・管径	но	H 1	
1	RRVUØ 75	h+ 86	h+189	
2	RRVU Ø 100	h+111	h + 2 1 4	
3	RRVU Ø 150	h+160	h+265	
4	R R V U Ø 2 0 0	h + 2 0 9	h+316	
5	R R V U Ø 2 5 0	h + 2 5 9	h+367	
6	RRVU#300	h+309	h+418	
7	RRVPø 75	h+ 83	h+189	
8	RRVP Ø 100	h + 1 0 7	h + 2 1 4	
9	RRVP Ø 1 2 5	h+133	h + 2 4 0	
10	RRVP Ø 150	h+156	h+265	
11	PE φ 50	h+ 55	h+160	
12	PE φ 75	h+ 83	h+190	
13	PΕ φ100	h+115	h + 2 2 5	
14	PE φ150	h+166	h+280	
15	PE	h + 2 3 1	h+350	
16	PΕ φ250	h + 2 9 1	h+415	

単位の表示のないものはmmとする。

管種において、自然流下は、RRVUとし圧送管についてはRRVPとする。

	図面	o 4	8	称		図面番号
	配管縮尿		5 - 1/7			
70	1 9	平	成	年	月	日終了
洪	1 E					
設	ät					
製	原図					
Ø	複写					
		伊	賀	市		

掘削標準図

S=1:20

素堀り断面 〔土被り H < 1.00 m〕

[砂基礎. 舗装影響幅有りの場合]

素堀り断面 〔土被り H < 1.00 m〕

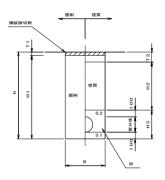
[砂基礎、舗装影響幅無しの場合]

素堀り断面 〔土被り H < 1.00 m〕

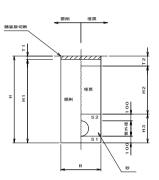
[コンクリート基礎、舗装影響幅有りの場合]

素堀り断面 〔土被り H<1.00m〕

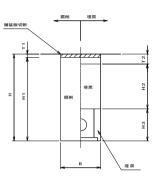
[コンクリート基礎、舗装影響幅無しの場合]



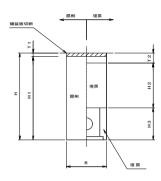
注:掘削は、人力掘削及び機械掘削とする。 上層路盤及び下層路盤は土砂掘削とする。



注:掘削は、人力掘削及び機械掘削とする。



上層路盤及び下層路盤は土砂掘削とする。



管渠寸法表 (砂基礎の場合)

	単位	VU Ø 7 5	VUφ100	V U ø 150	V U φ 2 0 0	V U Ø 2 5 0	V U Ø 3 0 0	V U Ø 4 0 0
管外径	m	0.089	0.114	0.165	0.216	0.267	0.318	0.420
管控除量	m³	0.006	0.010	0.021	0.037	0.056	0.079	0.139
н з	m	0. 289	0.314	0.365	0.416	0.467	0.518	0.620

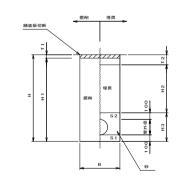
管渠寸法表 (コンクリート基礎の場合)

	単位	φ150	φ200	φ250
管外径	m	0.165	0.216	0.267
コンクリート基礎、管 控除量	m	0.190	0. 235	0.285
н з	m	0.465	0.516	0.567

素堀り断面 〔掘削深 H≦1.50m〕

[砂基礎. 舗装影響幅有りの場合]

銷装版切断



[砂基礎. 舗装影響幅無しの場合]

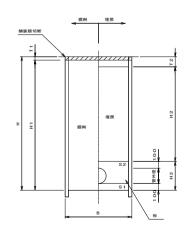
素堀り断面 〔掘削深 H≦1.50m〕

矢板堀り断面 [掘削深 H>1.50m]

[砂基礎、舗装影響幅有りの場合]

振削

矢板堀り断面	〔掘削深	H > 1.	50m)
〔砂基礎.	舗装影響幅	無しの場合)



掘削幅寸法表

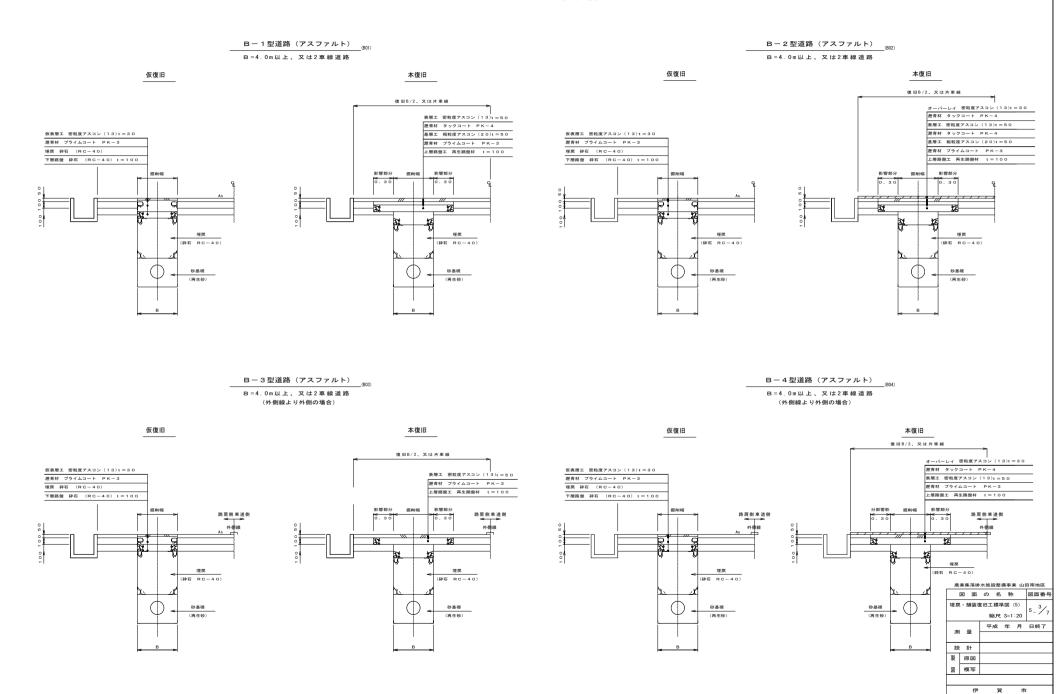
	_			
提削深 H	2. 0m以下	2. 0~3. 0m	3. 0~4. 0m	4. 0m以上
1. 50m以下	0.60	0.60	0.60	0.60
2. 50m以下	2. 3m以下 1.00	1.00	1.00	1.00
3.00m以下	_	_	1.00	1.00
3. 40m以下	_	_	1.00	1.00
3.80m以下	_	_	_	1.00
4. 40m以下	_	_	_	4. 4m以下 1.10

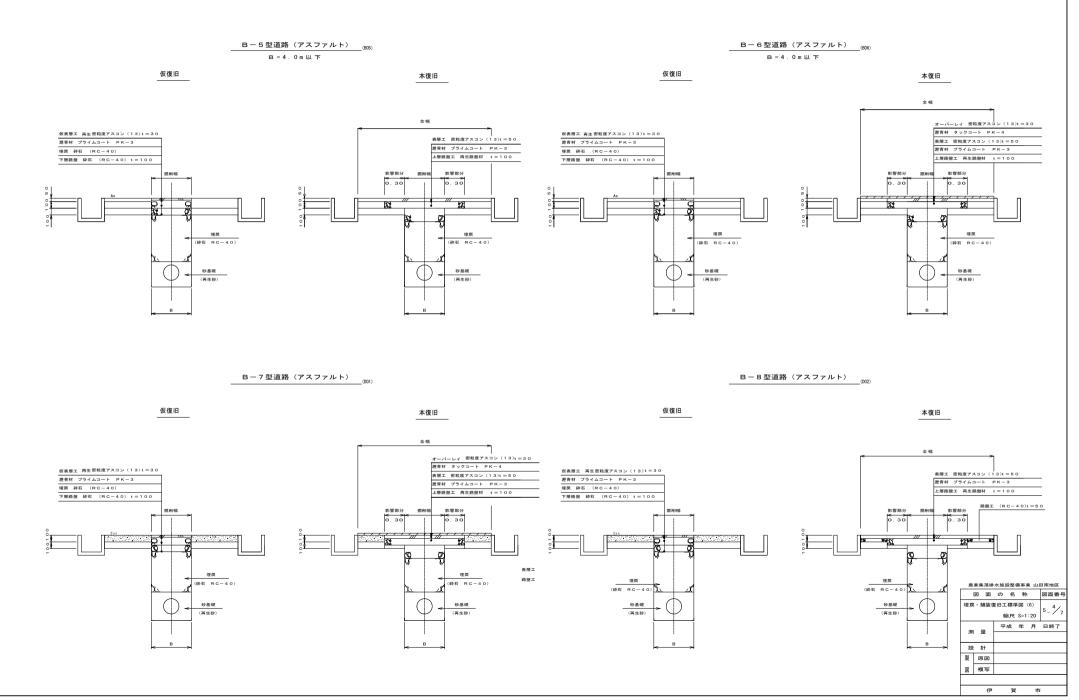
注:掘削は、人力掘削及び機械掘削とする。 上層路盤及び下層路盤は土砂掘削とする。

注:	掘削は、	機械掘削とする。
1	- 層路盤及	び下層路盤は土砂掘削とする。

	図面	の名	称	図面番	号
	0 5-2/	7			
測		平成	年 月	月 日終了	
JA!	-				
19	#1				
製	原図				
2	複写				
	伊	智		市	

S=1:20





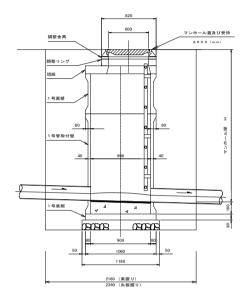
1 号レジンマンホール標準図

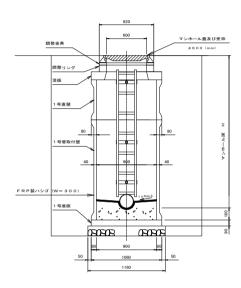
1 号 レ ジ ン マ ン ホ 一 ル 標 準 構 造 図

S=1:20

側面図

断面図





断面図

20202

(2020)

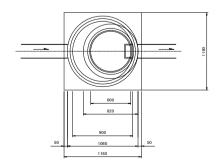
基礎栗石

モルタル (1:2) t=20

1号底版

インバート 18-8-25

平面図



止 水 材:各部材間隔に入れ木密性が十分期待できる材料 マンホール接合材:智とマンホールの接合部分に入れ木密性及び可とう性が十分期待できる材料 マンホール鉄重:雑排木についてはデザインの「のうしゅう」はなしとする

管取付壁 φ900

寸法表



インバート及び基礎工標準図

600 900 1200 1500



調整リング

直線部

曲折部及び合流部

始 点 部

_			9_	考)			
インパート及び基礎工数量表 (1ヶ所当り)							
タイプ	名称	計算式	1	数	2		
1 号	無筋コンクリート 18-8-25	1/4×0. 90×3. 14×0. 28-1/4×0. 20×3. 14×1/2×0. 90 =0. 164		ο.	m² 16		
ホールン	モルタル 1:2 :=20	1/4×0. 90×3. 14-0. 20×0. 90+3. 14×0. 10×0. 90 =0. 738		ο.	7 4		
マン	基礎栗石 5~15cm	1. 16×1. 16 ≡1. 346		1.	m² 3 5		

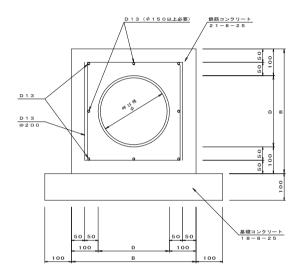
※ 漁入、漁出管の落差が60cm以上となる場合に割管工を設け、落差が10cm以上60cm未満の時は、直落しとし、 インパートは2cmの段差をすりつけるものとする。又落差が2cm以上10cmより小さい場合は、落差分だけすりつけるものとする。

単位の表示のないものはmmとする。

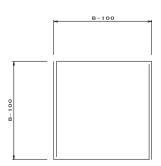
農	業集落技	水施	設整化	南事名	٤ μι	日南地区
	図面	の	名	称		図面番号
1 5	} レジン		トーノ 宿尺	5_5/7		
測	量	平	成	年	月	日終了
設	8+					
휈	原図					
図	複写					
	伊	+	賀		क	

コンクリート防護エ

S = 1:5



鉄筋組立図

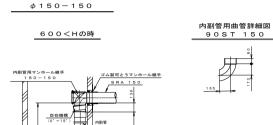


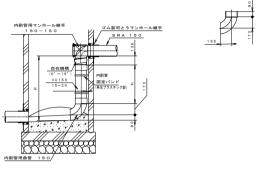
コンクリート防護工数量表 (10m当り)

=															
	管 種				VP.	Vυ						su	s		
न	呼び径	φ	50	75	100	125	150	200	250	50	80	100	125	150	200
	外径 D	mm	60	89	114	140	165	216	267	60.5	89. 1	114.3	139.8	165. 2	216.3
法	В	mm	260	289	314	340	365	416	467	260.5	289.1	314.3	339.8	365.2	416.3
	第コンクリート 1-8-25	m³	0.65	0. 77	0.88	1.00	1.12	1.36	1.62	0.65	0. 77	0.89	1.00	1. 12	1.37
	型枠	m²	5.20	5. 78	6. 28	6.80	7.30	8. 32	9.34	5. 21	5. 78	6. 29	6.80	7. 30	8.33
	鉄 筋 D13	t	0.127	0.136	0.143	0.151	0. 159	0. 174	0.189	0. 128	0.136	0.144	0. 151	0.159	0. 174
	をコンクリート 8 - 8 - 2 5	m³	0.46	0.49	0. 51	0.54	0.57	0.62	0.67	0.46	0.49	0.51	0.54	0.57	0.62
	同上型枠	m²	2.00	2.00	2. 00	2.00	2.00	2.00	2.00	2. 00	2. 00	2. 00	2.00	2.00	2.00
	基面整正	m²	4.60	4.89	5. 14	5. 40	5.65	6.16	6.67	4. 61	4. 89	5.14	5.40	5. 65	6. 16

	図面	Ø	名	称		図面番号
_	ンクリー	5_6/7				
			縮尺	. S=	1:5	3-/7
2mil	=	平	成	年	月	日終了
/A1						
設	#H					
휧	原図					
図	複写					
	伊		賀		rt	ī

副管取付工 (内副管)





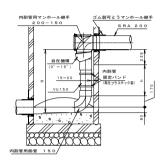


<u>600<hの時< u=""></hの時<></u>		
å 6	規格	数 量
内副管用継手	φ150×150	1
Vu直管	φ150	H-0.38
90"曲管	φ150	1

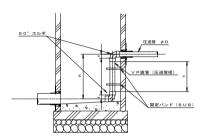
φ150 **1 ※直管部分1m以下の場合に適用し標準とする。 ただし、それ以上の場合は1m毎に1箇所程度考慮する。

\$\phi 200-150\$

600<Hの時







圧送放流部詳細図

		※マンホール内壁からの離れ15mmで 施工した場合の2ヶ所放付物の最小角度
I	111	

& 6	規格	数量	長
VP直管	φD	H - 4 × 2	В
90" エルボ	φD		自
固定パンド	φD	2	自

透200-150

600<日の時

8 6	規格	数量	単位
内副管用継手	φ200×150	1	個
∨∪直管	φ150	H-0.48	-
90"曲管	φ150	1	68
固定パンド	φ150	※ 1	68

※直管部分1m以下の場合に適用し標準とする。 ただし、それ以上の場合は1m毎に1箇所程度考慮する。

	図面	の名	粉		図面番号					
副	副 管 取 付 工 工 法 図 縮尺 5 _ 7 / 7									
測	量	平成	年	月	日終了					
89	: #1									
휧	原図									
図	複写									
	/#	- tu	,	78	r					

